令和５年４月３日
（２０２３年）

吹田市立山手小学校
校長　　瀬崎　浩美

令和５年度　山手小学校　学校経営方針

わが都市すいたの教育ビジョン

① 総合的人間力の形成
② 社会全体の教育力の向上
③ 豊かな教育環境の創造

学校教育目標

◎人を笑顔にするあいさつができる学校
◎自分の思いを自分の言葉で伝える教室
◎心身ともにたくましい子ども

地域・児童の実態

地域・保護者ともに、比較的学校に協力的であり、教育への関心は高い。

明るく素直で優しく、行事や取り組みなど前向きに取り組むが、自分の思いをうまく伝えられない児童が多い。また、学習や集団活動に特別に配慮のいる児童もいる。

目指す学校像

「安心・安全・あったかい学校」

重点目標

「いじめのない、安心・安全な学校づくり」
「自分の思いを　自分の言葉で伝え　相手の思いも受けとめられる　あったかい教室づくり」

元　気

生活指導・人権教育

○「元気に登校、笑顔で下校」

- いじめ、不登校、虐待、特別支援教育等の組織的な対応（生活アンケート、個別面談、生活安全委員会を中心とした日常的な情報共有と連携、継続した見守り対応等）
- 教育相談・SSW 等関係機関と連携した相談体制の充実
- 発言者の思いを受け止める集団づくり（聞く姿勢、話し方言葉選び等）
- DC 教育、いじめ予防授業
- 教育公務員としての自覚・人権感覚を磨く
- 保護者との信頼関係づくり
- 自分の命は自分で守る安全教育・健康教育

やる気

学力向上・指導力向上

○「わかる・できる」を大切にした「やる気」が起こる授業

- 基礎・基本の力 ﾓｼﾞｭｰﾙ 朝学・朝読　学力保障 少人数、習熟度別学習 学習発表会　自楽　授業規律
- 教職員がともに学び、育つ学校づくり(ﾐﾆ研修、公開・研究授業など)
- 伝え合いを意識した授業づくり（ﾍﾟｱやｸﾞﾙｰﾌﾟ学習・異学年交流など）

＊昨年度研究主題「考えや思いを伝え合い、学び合う力の育成」

- 初任・若手教員への指導力向上のための伝承

勇　気

保護者・地域とともに

○「勇気」をもって人のために行動できる子どもを育てる

- 児童会活動の活性化
- 環境整備(ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ、花壇、修繕、危機管理など)
- 地域人材の活用(ｷｬﾘｱ教育、交流体験、出前授業など)
- 中学校ブロックでの取り組み（授業交流体験交流、段差解消のための連携など）
- 地域行事への協力
  子どもは地域の宝
  地域でこどもを育てる意識
- 積極的な情報発信

【指導にあたって・・・】（「子どもにとって最善を!!」）

〇学校全体で子どもを育てる　　・・・子どもへの対応が同じであること
「報告、連絡、相談」を意識する
〇指導・対応は複数で、迅速に、的確に・・・初期対応が結果を大きく左右する
〇個人情報管理　　・・・整理整頓、管理の徹底
〇危機管理を意識　　・・・トラブルは未然に防ぐ、大事を想定する

【課題への取り組み】（学校教育アンケート結果等から）

（１）自尊感情を高める取り組み
☆自分の考えや思いをうまく伝えることができる教室づくり
・誰もが発言できる授業、わかる・できるを実感できる授業
・一人一人の頑張りを認め、家庭にも発信していく
・ユニバーサルデザインを意識した教室
☆いじめのない、安心・安全な学校
・生活アンケートの活用・・・個別面談→学期間追跡、共有化、６年間保管
・トリプルチェンジの取り組み、家庭への積極的発信
・相談しやすい環境づくり・・・SSW、教育相談員、関係機関等との連携
☆先生がモデルになる・・・教職員の一人一人が山手小学校の財産
・子どもの前では最高の笑顔で・・・・働き方改革で、オン・オフの切り替えを

（２）集団としての成長・・・他者とのかかわり方、自己表現力の育成
☆発言者の思いを受け止める集団作り
・話の聞き方、話し方、言葉の選び方など、コミュニケーションの取り組み
・<u>あらゆる教育活動</u>で具現化する
昨年度の研究主題：考えや思いを伝え合い、学び合う力の育成（教科　国語）
講師　　大阪大谷大学　　今宮信吾　教授
道徳　　特別活動　　人権教育　　キャリア教育　　外国語活動
総合的な学習（生活科）　　学校行事　　学年行事　　地域の人材活用
・職員間のコミュニケーションも大切に、人権感覚も意識して